

「最初に引いた一線は、最も新鮮な効果があるものだ。」



# 宮本三郎の線

2008年4月5日(土) - 7月27日(日) 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

世田谷美術館 奥沢分館  
**宮本三郎**  
記念美術館  
Miyamoto Satoru Memorial Museum



「最初に引いた一線は、最も新鮮な効果があるものだ。」

# 宮本三郎の線

宮本三郎の魅力を読み解く一つの視点として、その「線」をあげることができます。画家が線を引くということは、作品の原初であると同時に、画面構成を進めていくうえで不可避であり、決定的な行為だといえます。一本の線は内と外の間を生み出し、さらに画面に静と動をもたらします。私たちが画面に引かれた線を見つめるということは、画家の表現意図をより深く感受することにつながるのではないのでしょうか。

若き日より、安井曾太郎からも評価を受けていた宮本三郎の素描力は、絵画はもとより、多種多様な文学作品の挿絵などにも反映していきました。宮本の対象に向き合う真摯な姿勢は、場景を的確に表現する厳格で卓越した力を養い、やがて彼は“天性の素描家”と評されるにいたりました。それはたんに、技巧に対する賞賛ではなく、宮本三郎の線に対する飽くなき探求心と、それぞれの線に宿る高い精神性への賛辞と受けとることができるといえます。

本展では、晩年に至るまで、そのアトリエでデッサンを怠らなかった宮本三郎の諸作品をご紹介します。複雑な描線の交錯が生み出す豊かな表現世界、そして線と線のあいだに醸しだされる、深々とした行間の魅力を味わっていただければと思います。

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 表. 《(裸婦)》1967年(昭和42)頃      | 4. 《(婦人像)》1960年(昭和35) |
| 1. 《(ソファ裸婦)》1947年(昭和22)頃   | 5. 《(裸婦)》1954年(昭和29)  |
| 2. 《(家族像)》1956年(昭和31)      | 6. 《(裸婦)》1971年(昭和46)頃 |
| 3. 《(歌手 雪村いづみ)》1964年(昭和39) |                       |

## 展覧会関連企画

### ギャラリートーク

毎月第2土曜日に、当館学芸員が展示解説を行います。  
4月12日(土)、5月10日(土)、6月14日(土)、7月12日(土) 14:00より30分程度  
参加費:無料(観覧料のみ) 申込:事前申込不要 当日開始前にご来館ください。

### 「実技講座:デッサン:人体を描く」

※5月25日(日)受付開始  
作品鑑賞と併せてデッサン教室を開催します。  
宮本三郎の人体表現を読み解きながら、モデルデッサンに挑戦してみませんか?  
日時:7月19日(土) 13:00-16:30  
参加費:800円 講師:板倉美智子(二紀会員)  
対象:どなたでも 申込:事前申込先着/15名

申込方法: イベント名・住所・氏名・電話番号を明記の上、  
往復ハガキまたはE-mail(miyamotosaburo.annex@rapid.ocn.ne.jp)にて  
宮本三郎記念美術館「講座室活動」係まで。 ※申込先着順。重複申込・連記不可。



1



2



3



4



5



6

2008年4月5日(土)–7月27日(日)

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

- 開館時間/10:00–18:00(入館は17:30まで) ●休館日/毎週月曜日(休日と重なった場合は翌日。ただし、4月28日(月)は開館。)
- 観覧料/一般200円(160円)、高校・大学生150円(120円)、小・中学生100円(80円)、65歳以上及び障害者の方100円(80円)
- ※( )内は20名以上の団体料金。小・中学生は土・日・祝日無料。 ※障害者で小・中・高・大学生、及び障害者の介護者(当該障害者一人につき、一人に限る)は無料。 ●最寄交通機関のご案内/東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分・東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分・東急大井町線・東横線「自由が丘」駅 徒歩7分



**本館情報** 世田谷美術館: 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代)

- 企画展** 「冒険王・横尾忠則展」4月19日(土)–6月15日(日)
- 「建築のみる夢 –石山修武と12の物語–」6月28日(土)–8月17日(日)
- 収蔵品展** 「チルドレンミュージアム 物語が聞こえる –ぼくたちのお気に入り」6月27日(金)–9月7日(日)

**分館情報** 会期:4月5日(土)–7月27日(日)

向井潤吉アトリエ館 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581

「武蔵野–ふたつの憧憬 向井潤吉 師岡宏次」

清川泰次記念ギャラリー 〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202

「大東京–清川泰次が写した昭和十五年のメトロポリス–」